



三鷹駅北口街づくりラボ ニュースレター



令和元年度三鷹ラボ 実施概要

第1回

日時: 2019年8月20日(火) 18:30 ~ 19:00

場所: 武蔵野芸能劇場 小ホール

内容:

- ① 社会実験の日程、実施内容の概要について
- ② 広報の協力をお願い



第2回

日時: 2019年12月9日(月) 18:30 ~ 20:30

場所: 武蔵野芸能劇場 小ホール

内容:

- ① 社会実験の様子を紹介(写真・ムービーなど)
- ② 調査結果の概要
- ③ 実行委員会メンバーよりコメント
- ④ 今後について
- ⑤ 意見交換・発表(数班に分かれてワークショップ形式)



三鷹駅北口パブリックスペース利活用社会実験を終えて

第2回三鷹ラボでは、実行委員として、社会実験の実施に向けて連携して取組んできた三鷹駅北口商店会・むさしのマルシェ実行委員会の各代表者よりコメントをいただきました。

三鷹駅北口商店会として秋の祭礼を同時開催し、社会実験に少しでも貢献できた。

市民の方々が道路で遊び、飲食をするという非日常的な時間、空間を経験され、楽しんでいただけたように見えた。

道路使用にあたり、市は様々な調整・交渉に苦労したと想像する。将来的には我々民間の立場が中心となって企画を行って行けたらと思う。

今後は、平日は社会人、週末はファミリー層がメインという利用者の違いを考慮した、三鷹駅北口の特徴を踏まえたまちづくりの演出が重要と感じた。

社会実験が実現でき本当によかった。以前からタワーズマルシェを道路に拡大したいと思っていたが、実施してみたことによって難しさ、大変さ、必要な人的支援、もう少しお金を貯める必要があるなどといった課題も見えてきた。

昨年の三鷹ラボでのアイデアはあまり実現できなかったと感じるので、来年以降も継続して実現につなげていきたい。社会実験では、子どもの遊びのパワーの大きさを実感し、これを大事にしていけないといけなくて強く感じた。危惧していた路上駐輪は問題にならず、社会実験での駐輪場への誘導の効果が11月のマルシェにもあらわれていた。

次回は来場者による周辺施設のトイレ利用への対応に留意する必要がある。

出席団体・企業等

- ・武蔵野市中央地区商店連合会
中央通り西祥会
- ・三鷹駅北口商店会
- ・NTTクラリティ(株)
- ・多摩信用金庫
- ・東京電力パワーグリッド(株)
- ・(株)アトレ
- ・東日本旅客鉄道(株)八王子支社

- ・東日本旅客鉄道(株)三鷹駅
- ・横河電機(株)
- ・(株)モンテローザ
- ・日本たばこ産業(株)
- ・(株)タツノコプロ
- ・サイフォン合同会社
- ・(株)大戸屋ホールディングス
- ・NPO法人武蔵野スポーツクラブ
- ・むさしのマルシェ実行委員会
- ・かえっこ

- ・まち"が"ほいくえん
- ・一般社団法人TOKYOPLAY
- ・武蔵野タワーズ団地管理組合
- ・公益社団法人武蔵野法人会
- ・三鷹北口地区まちづくり準備会
- 《事務局》
- ・武蔵野市役所
- ・武蔵野市開発公社
- ・八千代エンジニアリング(株)

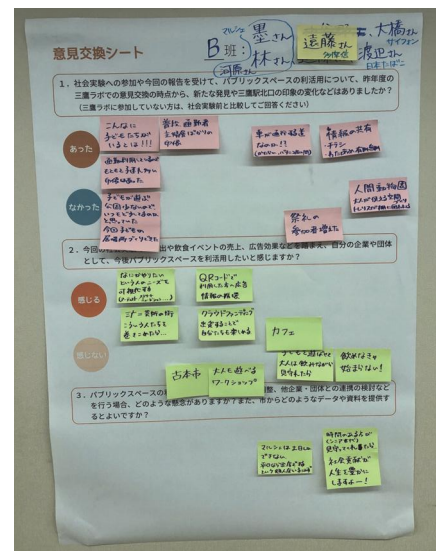


第2回三鷹ラボでの意見交換

社会実験の報告を受けて、参加者の感想や三鷹駅北口の印象の変化、今後のパブリックスペース利活用への参加意向などについて意見交換を行いました。

社会実験の感想・三鷹駅北口の印象の変化

- 通勤のイメージが強い地域だったが、想像以上に多くの子どもが参加していた。
- 飲食ブースに450名の来店があったのは想定以上であった。
- 毎日通っている桜通りの新たな魅力、ポテンシャルを感じることができた。
- もっと日常的に道路を封鎖しても良いと思った。
- 平日のサラリーマンをターゲットにした大人向けの企画の実現は難しかった。
- 吉祥寺や武蔵境とは違う生活の中にぎわいを目指したいと思った。



今後の利活用への参加意向

- 今回の社会実験のようなイベントには、売上、PR面からメリットが期待できるので、出店したい。(飲食店)
- 今回のような内容では、営利目的での定期的な出店は考えにくい。地域貢献(ボランティア)としてなら可能。(飲食店)
- 企業の認知度向上やお客様と接する機会としては魅力的であり、内容によっては出店したい。(サービス業)
- 「防災」「しごと体験」等テーマ設定があれば、それに合わせたコンテンツを検討したい。(サービス業)
- BtoB(企業間)のビジネスを行う業種は関わりづらい。(サービス業)
- 大人向けの企画ができれば、新製品のプロモーションなどをやってみたい。(製造業)
- タワーズマルシェとセットでさらにみちあそびを展開したい。(地域団体)
- 三鷹駅南口や地域企業・団体と連携して更なる賑わいを演出できるとよい。今後も参加したい。(商店会)

今後に向けた懸念事項など

体制

- 市は継続的に関わり続けていたほうが良い。(人材の連携・広報・窓口・とりまとめの役割)
- 行政からの働きかけがあったほうが、企業としては動きやすい。

人材

- 行政主導はほどほどにして、将来的には様々な団体・企業が自ら何かを起こす場となれば面白い。
- コンテンツをコーディネートできる力のある人や団体を巻き込んで体制を構築することが必要。子育てに強い機関との協力・連携ができるとよい。(0123施設、プレーパーク武蔵野など)
- ボランティア(シニア世代)による見守りなどがあるとよい。
- 大学生との連携ができるとよい。

企画

- イベントだけでなく、常設の利活用スペース(オープンカフェなど)ができると認知度が高まる。
- 道路上での飲酒が可能になると可能性が広がる。
- 平日や夜の時間帯の活用の可能性を考えたい。

その他

- 出店希望者をリスト化して、日常的・潜在的なニーズが整理されるとよい。
- 居住者層や通行量のデータがあるとターゲットを定めやすい。
- かたらいの道の歩道と車道を行き来できるようにするとよい。



問合せ先

武蔵野市 都市整備部 まちづくり推進課

所在地：〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28 東棟4階

T E L : 0422-60-1872

M A I L : SEC-MACHIDUKURI@city.musashino.lg.jp

2020年1月発行

